

戦没者追悼式

しめやかに行われる

中 横
11月8日

横芝町戦没者追悼式は、十一月八日、遺族、関係者、三〇〇余名が出席してしめやかに行われました。

横芝中学校を会場とした式典は、伊藤才司社会福祉協議会長の開式のことばで始まり、佐瀬町長の式辞、土屋議長のことばがあり、続いて行われた遺族代表、後藤幾久さん(栗山一)の當時を切々

と語る思い出のことばには、参列者の涙さえさそいました。その後遺族の方がたによる献花があり、椎名清横芝町遺族会長の、お礼のことばで閉会となりました。

式典の後、昼食をとりながら行われた、キングレコード日の丸歌手による追憶の軍歌は、当時をしるふなつかしい曲ばかりで、ありし日の夫の姿や、兄弟のことを思

い出すように、うなづき、聞き入る遺族の姿もありました。戦没者のごめい福を祈ると共に、この平和な日本を守っていくのが私たちひとりひとりに課せられた使命ではないでしょうか。



▲ 追悼のことばをのべる土屋議長

除夜の鐘

十二月は、陰暦で「師走」とよばれていましたが、また、別の名を「除月(じよげつ)」ともいいました。

十二月が「除月」で、三十一日つまり、大晦日が「除日(じよじつ)」。その夜が「除夜」というわけで百八つの鐘で知られる「除夜の鐘」の名称も、ここに由来します。

ところで、百八つの鐘をつき鳴らすのに一時間から一時間半かかるそうですが、いくつ目ぐらいで

年賀状は 20日ごろまで お出してください

—郵便局—

今年も残すところあとわずか、年賀状の準備はいかがですか？郵便局では、12月15日から28日までを、年賀郵便特別取扱期間と定めています。いつもこの時期は、年賀郵便などで局が大変いそがしくなります。

間違わずに元日に配達するには遅くとも、20日ごろまでに年賀状を差出してください。小包は15日ごろまでお願いします。

また次のことに気をつけて、差出す前にもう一度、住所、氏名をお確かめください。

- 郵便番号、番地をはっきりと。
- 小中学生などに出す場合には親の名前も書いてください。
- 年賀状は、ひとまとめにして輸ゴムをかけてください。



年が明けるのか、ご存知ですか。昔は、百七つを年内につき、残りの一つを新年につくならわしたつたそうですが、今では、午前零時つまり新年の合図に最初の一つを、年が明けてから残りの百七つをつくってお寺が多いようです。

どうして、このように変わってきたのでしょうか。あるお寺では、その辺の事情について、こんな話をしています。

「ゴーンと尾を引くような余韻が消えてから次をつきますし、信者の方が入れ代わり立ち代わり鐘をつかれるので、時間は正確に測れません。百八つめをピッタリ午前零時に合わせるのは、たいへんむ

ずかしい。昔は多少時刻がずれても、さほど差しつかえなかったでしょうが、今はテレビやラジオの時報もありますし、新年を告げる鐘の音が正確では、みなさんに申し訳ないですからね」

除夜の鐘も時代の流れには勝てず、といったところです。そういえば、この夜に食べる「年越しそば」のそば粉はもちろん、タレに使うしょうゆの材料である大豆も、いまではほとんど輸入品とか。

除夜の鐘、年越しそばといった年の瀬の風物詩も世につれて変わってきていますが、何はともあれ、一九八〇年代がよい年でありますように祈りたいものです。